

次世代 IP ネットワーク推進フォーラム 利活用促進部会会合(第3回) 議事録(案)

- 日時:平成 21 年 3 月 9 日(月) 16:00～17:00
- 場所:情報オアシス神田 オアシス7
- 出席者
  - 利活用促進部会長 國領二郎(慶應義塾大学)
  - 新ビジネス検討 WG リーダー 中村伊知哉(慶應義塾大学)
  - 他 23 名

総務省

電気通信技術システム課 田原課長、他

事務局

情報通信研究機構 伊藤グループリーダー、他

●配付資料

- 資料1 IPTV 調査報告書
- 資料2 マルチメディア放送を実現する IP データキャスト(IPDC)の導入について
- 資料3 利活用促進部会総会報告(案)
- 資料4 利活用促進部会の英文名称について
- 参考資料1 第 2 回利活用促進部会議事録(案)
- 参考資料2 利活用促進部会設置要綱
- 参考資料3 利活用促進部会構成員名簿
- 参考資料4 次世代 IP ネットワーク推進フォーラム第3回定期総会概要

●議事内容:

1. 開会(國領部会長)

2. 配布資料確認

事務局より、配布資料の確認がなされた。

4. 議事

(1)利活用 WG 活動報告について

資料 1 に基づき、利活用 WG 事務局氏家様より説明。

質疑応答:特に無

(2)新ビジネス検討 WG 活動報告について

資料 2 に基づき、中村 WG リーダーおよび新ビジネス WG 事務局尾崎様より説明。

質疑応答:特に無

(3)利活用促進部会の総会報告について

資料 3 に基づき、事務局より説明。

國領部会長：前半と後半で「放送」という用語の意味が微妙に異なっている。そういう時代ということで統一する必要はないと思われるが、一方が有線、一方がワイヤレスの世界になっている。

足立構成員：我々の会社は、テレビの次にはインターネットのように効率の良いメディアが出てくることを予測し、研究を行っている。主なキラーアプリケーションは大規模なクラウドコンピュータでやり取りするもので、まずは今年プロトタイプを開発する予定である。実業で結果を出したものが標準化されていくことになると考えている。

國領部会長：開発した技術がきちんと立ち上がるために、今どういうことを仕込んでいく必要があるかということが重要である。

國領部会長：総会においては、本資料に基づき中村 WG リーダーよりご報告していただく。

決定事項：利活用促進部会総会報告(案)が承認された。

(4) 利活用促進部会の英文名称について  
資料 4 に基づき、事務局より説明。

決定事項：事務局案で承認された。

(5) その他全体についての意見

田原課長：今年度は、IPTV や IPDC といった放送分野の利活用について検討が行われた。クラウドや SaaS(サーズ)など他の分野でも NGN を利用したサービスが出てきており、来年度以降はこういった視点での検討も行っていただき、整理していきたい。また、今後の新しい利用形態についてもご議論いただきたい。

國領部会長：来年度は新しい展開の中で活動していくことになる。本年度の議論はここまでとし、来週の総会でご報告させていただく。

(6) その他

○次回会合予定について

事務局より説明。

- ・ 具体的な日程については、各 WG での検討状況を踏まえ、後日連絡する。

○総会のご案内

参考資料4に基づき、事務局より説明。

5. 閉会(國領部会長)

以上